

【 臨床研究に関する情報の公開 】

ギラン・バレー症候群で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項目	内容
1. 研究課題名	ギラン・バレー症候群における退院時ADL低下の予測因子の検討
2. 研究の対象者	2014年4月1日から2024年10月31日の間に、当院のリハビリテーション科において回復期リハビリテーション治療を受けられた方
3. 研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2025年6月30日 ※データ収集、学会発表に要する研究期間
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 リハビリテーション科 研究責任者：リハビリテーション科 平野 博久 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	ギラン・バレー症候群では退院時に移動以外にもADL低下がみられることも多く、mEGOSやΔIgG、神経伝導検査での複合筋活動電位の振幅との関連を検討しました。
6. 研究の方法	本研究は後方視的観察研究です。2014～2024年に当院のリハビリテーション科において回復期リハビリテーション治療を受けられた方を対象とし、退院時に移動以外のADL低下がみられた群と、ADLが自立していた群にわけ、上記予後予測ツールを比較検討しました。個人の特定が可能な情報は解析には用いません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、先行症状の有無、MMT、血液検査結果（IgG）、神経伝導検査結果、FIM、Hughesスケール、入院期間
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で当院のパスワードロックをかけたパソコンで保管します。データを廃棄する際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション科 平野 博久
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション科 平野 博久 電話：06-6458-5821（代表）